

海上輸送されるロシア産石油及び石油製品に対する上限価格措置のアップデート
に関する上限価格連合の声明（仮訳）

1. 原油上限価格措置の履行から 1 年経ち、我々のアプローチは、ロシアの違法な戦争に投入され得るロシアの収入を削減しつつエネルギー市場の安定を支援するという我々の目標の両方を推進することに成功してきている。
 - a. 年初以来、世界市場には石油が引き続き十分に供給されている一方、エネルギー価格は安定している。
 - b. 石油及び石油製品の輸出によるロシアの収入はロシアの主要な歳入源であり、2023 年 1 月から 11 月までに前年同期比で 32%減少した。
2. 我々のアプローチは、ロシアに困難な選択を強いることを目的として精密に設計された。その選択とは、上限価格連合（以下「連合」）のサービス提供者を通じて割引価格で石油を販売するか、連合のサービスなしで輸出するための代替のエコシステムの構築に投資することであった。いずれの選択肢も、そうでなければ戦場に向けられたであろう資金をロシアに支払わせることとなる。
3. 世界のエネルギー市場に対するロシアの侵略による不安定化圧力を緩和するという我々の目標は変わらない。我々は、世界中の脆弱な立場にある人々の食糧安全保障やエネルギー費用などへのものを含むロシアの戦争への影響の軽減に尽力している。同時に、我々の連合は、価格上限違反の申し立てを極めて深刻に受け止めていることを、当初から明確にしてきた。したがって、我々はロシアに対するコンプライアンス及びその他の費用の増加に焦点をあてている。連合メンバーは入手可能な全ての証拠を検討し、順次追加的行動を追求し得る。
4. 本日、我々はまた上限価格コンプライアンスに係る枠組みの見直しを公表する。第一に、我々は間もなく、連合の関連するサービス提供者が、ロシアの石油を船積みする毎に、取引相手から誓約書を入手することを要求する。第二に、明細に記された付随費用（例：保険料や運賃）へのアクセスを有する石油供給網の参加者に対して、要請に応じて、当該供給網の更にある諸団体にそれらを共有するよう要求する改正を導入している。連合メンバーは、今後数週間以内にそれぞれの国内法的手続きを通じて、移行期間に関する詳細及びガイダンスをサービス提供者及び関連業界に提示する予定である。これらの変更は、石油上限価格制度の実施を支援し、不正行為者にとって上限を超えて購入した石油を偽装するために不透明な輸送費用を使用する機会が減らされることにより、迂回を阻止するものである。この文脈で、我々はまた、EU が、第三国へのタンカーの売却をより厳格に監視し、それらが上限価格を超えた石油を輸送するために使用されることを防ぐため、新たな措置を導入したことを強調する。
5. これらの変更は、連合のサービス提供者を欺きつつ上限価格を回避しようとするロシアの輸出業者の取組みを更に複雑にするとともに、最高のサービスを必要とするが上限価格以下で石油を販売したくないロシアの輸出業者の費用を更に上昇させるだろう。